令和２年度しもうちふれあいまちづくり協議会
第１回企画運営委員会　会議録

Ⅰ　日　　時　　令和２年６月６日（土）　午後７時３０分～午後９時００分

Ⅱ　場　　所　　下有知ふれあいセンター　会議室

Ⅲ　出 席 者　　委員２３名　顧問１名　支援職員１名

Ⅳ　会議内容

※　４月16日に全国に緊急事態宣言が発令され、これを受けてふれあいセンターを休館することになった。５月１７日に当協議会総会の開催を予定していたが、書面表決による総会開催を余儀なくされた。５月２５日に緊急事態宣言が解除され、６月１日からセンターを使用することが可能となり、急な招集ではあるが本年度の事業計画の詳細内容を協議していただきたく、本日、企画運営委員会を開催する運びとなった。

本来であれば、児童室で当委員会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各部屋の人数制限からこの会議（定員２５名）での開催とした。

１　会長あいさつ（野口会長）

・本年度最初の会議となる。当協議会は２月から事業を実施できておらず、４か月ストップした状態である。
・９月まで予定している事業の方向性を決定していく必要があり、予算の確保や使用方法等についても検討していただく必要がある。

（平田顧問）

・準備委員会から昨年度（令和元年度）まで協議会に携わっており、当協議会が持つ課題をまとめたものを作成した。（詳細は別紙のとおり）

＜自己紹介＞

２　協議事項

（１）　令和２年度しもうちふれあいまちづくり協議会実施事業について

（事務局長の説明）（詳細は別紙のとおり）

・新型コロナウイルス感染防止対策を朗読。
・本年度の各事業については、部会において早めに会議を開催し、事業の実施の有無や事業内容等を検討していただきたい。
・９月まで計画していた事業のうち、三密が予想される行事・イベント（9/6防災訓練、10/4敬老会、7/4三世代ふれあい広場、8/1ふれあい夏祭り）を開催することは難しいと考え、中止にしてはどうか？

（各部会長からも防災訓練、敬老会、三世代ふれあい広場、ふれあい夏祭りの開催については難しいとの発言あり）

＜決定事項＞

・９月まで予定していた防災訓練、敬老会、三世代ふれあい広場、ふれあい夏祭りの４事業は中止とする。

（２）　令和２年度まちづくり推進費について

（３）　令和２年度まちづくり推進協力費について

（４）　その他

（事務局長の説明）（詳細は別紙のとおり）

・市からの交付金はすべて事業補助金であるため、事業を行わなかったら、返還することになる。

・まちづくり推進費は、区長会から引き継いだ事業（各団体や組織への助成事業）への影響もあることから、例年どおり徴収したい。

・本年度のまちづくり推進協力費は、見送ってはどうか？（新型コロナの影響を受けていることから、企業へのお願いは酷であろう。令和２年度においてはご遠慮するが、令和３年度は協力いただきたい旨の文書を発送する。）

＜主な意見＞

・２月からの４か月間で令和２年度もスタートしていることから、区内においては自治会未加入者へのまちづくり推進費の協力依頼もすでに行っている。協議会の各事業に参加できるし、今までどおり徴収してもよいのではないか。

・各団体や組織への助成事業を見直す必要があるのではないか。

・協議会の事業を何も行わないのなら、推進費を今までどおり徴収するのはいかがなものか？地元での会員への説明が難しいと考える。

→　区長会が以前から長年に渡って行っていた事業(各団体や組織への助成事業)を引き継いでおり、これらを確保するためにも財源が必要である。徴収した推進費が各区へも流れているため、ご協力いただきたい。

＜決定事項＞

・まちづくり推進費（1,000円/世帯）は徴収する。

・まちづくり推進協力費のうち地元企業への依頼は行わず、自治会未加入者やアパートへの協力依頼はできるかぎり区長が行うものとする。

３　報告事項

（１）　新型コロナウイルス感染防止対策について

（詳細は別紙のとおり）

（２）　その他

＜決定事項＞

・第２回企画運営委員会までに各部会を開催し、各部会が抱える事業の開催有無や事業内容を検討いただき、その結果を受けて本年度の全体的事業を経費共に見直したい。

・部会の開催場所については、ふれあいセンターの会議質等を使用していただければよい。日時が決定し、事務局に連絡いただければ、事務局が部会員に対してハガキ等で会議案内を行う予定である。

・役員名簿と部会員名簿と情報が異なっている。
→　新しいものを次回に配布する。

４　次回企画運営委員会の開催日時
・日時：令和２年７月１８日（土）午後７時３０分
・場所：下有知ふれあいセンター　会議室

終了時刻　午後９時００分